

平成31年度 事業報告書

西神南あんしんすこやかセンター

1. <基本方針>

- ①介護保険制度をはじめとする市町村の介護・福祉行政の一翼を担う機関であることを認識し、公正中立な事業運営を行う。また、地域の特性や実情を常に把握し何事に対しても柔軟に対応をしていく
- ②職員相互で常に情報を共有し、互いの業務の理念・基本的な骨格といったものを理解した上で、連携・協働の体制を整え、地域包括支援センター業務全体をチームとして支えていく
- ③圏域の居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・地域と密に連携をとり、地域包括ケアの充実を図る

2. <実績>

○介護予防ケアプラン数

請求合計4,102件 前年比374件増
 (直営担当数:1,975件 前年比111件増、委託数2,127件 前年比263件増)
 月平均は341件(前年310件)で年々増加傾向にある。
 新規ケース数は年間134件(前年比1件減)。月平均11.1件。
 ここ数年前まではプラン数が横ばい状態であったが、この数年増加傾向にあり、今年度も374件の増加となった。新規件数は昨年度とほぼ変わらない状況である為、昨年同様、認定期間の延長などもあり、要介護に移行するケースの減少などが考えられる。
 圏域内の人口構成として、60歳前後が多く、この5年で高齢化率が10%上昇した地域もあり、今後高齢者人口が爆発的に増える事が予測されるため、次年度以降も請求件数の増加が見込まれる。

あんしんすこやかセンター 月別請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直営件数	164	156	159	156	164	160	171	170	171	167	164	173	1975
委託件数	165	172	171	187	178	181	174	187	180	181	183	168	2127

あんしんすこやかセンター 月別新規件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直営件数	4	1	3	2	7	4	8	7	7	2	5	8	58
委託件数	6	9	3	10	6	4	6	10	3	7	7	5	76
新規合計	10	10	6	12	13	8	14	17	10	9	12	13	134

3. <目標に対しての報告>

①相談対応の充実

A) 介護者支援の充実

在宅介護をされている方を対象に、介護リフレッシュ教室を年間6回（偶数月）開催。参加者同士が、ご自身の介護体験や悩みを話せる自助グループとしての役割を担っている。窓口相談に来られた認知症ケースのご家族や、近隣居宅への開催案内を行ない、新規の利用者も多い。

（内容）

4月18日：こころとからだにやさしい介護

（講師：訪問看護ステーションきらり 理学療法士 香川真二氏）

6月4日：笑いヨガ（講師：水谷寿子氏）

8月20日：納涼・やすらぎの音楽（河合千佳子氏、鹿島学氏）

10月26日：認知症介護のしかたについて

（講師：デイサービスあさんて管理者 加藤長年氏）

12月17日：クリスマス会

2月20日：介護体験談（講師：認知症家族の会兵庫県支部代表 河西美保氏）

B) 地域力の向上

地域の給食会などで、消費者被害の予防や、フレイル予防等の啓発を行い、高齢者や民生委員への注意喚起を行った。

また、9月に民生委員、防災ジュニアチーム、シニアクラブ等を対象とした、認知症高齢者声掛け訓練を開催し地域住民の認知症高齢者に対する理解を深め、地域住民による見守りの強化を図った。

その他、圏域内の喫茶や給食会等に可能な限り参加を行い、必要時参加者への介護予防啓発等を行った。

（参加行事）西神井吹台住宅集会所：ふれあい喫茶

西神南住宅集会所：バリスタはなみずき、うたごえ

井吹東地域福祉センター：ふれあい喫茶 ふれあい給食会

井吹西地域福祉センター：給食会

北町地域福祉センター：北町カフェ

樫谷地域福祉センター：おもと会

ルゼフィール井吹台集会所：カフェいばしょ すまいる元気体操
練功十八法 等

C) 地域の関係者との連携

◆圏域の事業所やケアマネジャーとの連携

ニュータウン地区にある他の2つの地域包括支援センター（西神中央・平野西神）と一緒に、西神地区ケアマネジャー情報交換会を開催。

2月には、「認知症になっても安心して買い物ができる街づくり」を目標とし、樫谷町にて初の地域ネットワーク会議（地域ケア会議）を開催。ケアマネジャーや介護保険サービス事業所、民生委員、郵便局、JA、コープこうべ、行政等の合計29名が参加。樫谷町の課題の共有化等、有意義なグループワークを行う事ができた。また、地域ケア個別会議に関しては、地域のケアマネジャーから相談された個別のケースに関して随時開催。家族や事業所、参加された地域住民と一緒に検討を重ねる事で、その方についての理解を深め、介護保険サービスだけでなく、地域でのサポート方法等の共有をすることができた。

◆医療機関及び行政との連携

個別地域ケア会議には、必要時圏域内のクリニックに声掛けを行い、看護師の参加もあった。2月に開催した、地域ネットワーク会議には西保健センターや西区社会福祉協議会からの参加もあった。また虐待ケースの対応やコア会議、困難ケースの相談など、適時行政や医療との連携を図った。

D) 相談窓口の周知徹底

◆地域住民への周知

圏域内で行われている給食会や喫茶等には可能な限り参加し、介護予防や介護保険制度についての説明を行い、相談窓口としてのアピールを行った。また今年度は、認知症神戸モデルが開始され、その啓発にも注力した。

圏域内ふれあいまちづくり協議会の会議や、自治会の会議等に参加し、地域の現状やセンターの役割についての説明を行った。

◆職員の技術向上

神戸市の必須研修以外にも、外部研修にできるだけ参加する機会を設け、会議にて他の職員への復講研修を行った。

(参加研修) 神戸地域包括支援センター研修会、西区医療介護サポートセンター、神戸市成年後見支援センター、高齢者虐待対応力向上研修、日本ホスピス在宅ケア研究会、神戸在宅医療介護推進財団 等

E) 認知症事業の啓発

◆認知症サポーターの養成

8月に認知症サポーター養成講座Aコースを、井吹防災ジュニア、井吹東ふれあいのまちづくり協議会を対象に実施した。その後、認知症高齢者声掛け訓練につなぎ、地域住民による見守りの強化を図った。

◆認知症支援の充実

日々の認知症に関する相談支援はもとより、今年度より本格的に開始された、認知症神戸モデルの普及啓発を地域の様々な集まりで行った。

(参加事業) 井吹東シニアクラブ、井吹西自治会、永井谷自治会、グランコリーナおしゃべり会、カフェいばしょ 等

②介護予防の充実

A) 介護予防ケアマネジメントの充実

◆ケアマネジメントスキルの向上

神戸市主催の研修にも参加し、適正なケアマネジメントを行う事が出来ている。月に1回、神戸市介護保険課より巡回訪問あり、指摘事項に関しても迅速に改善を行っている。

B) 介護予防事業への推奨

日々の相談ケースに関し、必要時介護保険認定申請を行い、必要な介護予防サービスへつないでいる。既存のサービスだけでなく、地域の中のインフォーマルサービスなどにも繋いでいる。

③地域見守りの強化

A) 訪問活動の継続

あんしんすこやかルームエリアに関して、暫定訪問ケースの把握だけでなく、高齢者を含む世帯全戸の訪問も行い、情報の収集に努めた。

B) 地域団体との連携

今年度は地域の民生委員児童委員改選の年であったが、新しい民生委員とも連携が取れるよう会議や地域への集まりに参加を行った。

C) コミュニティ作りの充実

あんしんすこやかルームエリアにおいて、年度内にうたごえ喫茶を月1回、井吹西地域福祉センターにて、いきいき百歳体操を月1回開催。いずれもコミュサポ支援事業としてバックアップを行った。

また、井吹台住宅集会所にて「オーラルフレイル」の講習会を開催。33名の参加があった。

4. 《会議》

	会議名	
開催	あんすこ・居宅内部会議(事業所内)	あんすこ単独会議(事業所内)、伝達会議
	西神地区ケアマネジャー連絡会	地域ネットワーク会議、地域ケア会議
参加	支え合い推進員連絡会	西区あんしんすこやかセンター連絡会
	神戸包括ブロック会議	西区SCS連絡会
	西区医療連携認知症ワーキング会議	西区地域ケア会議ワーキング
	職種別連絡会(主任ケアマネジャー・保健師・社会福祉士)	
	各民児協定例会(井吹東・井吹西・櫛谷)、井吹西自治会定例会	
	ご近所支えあいサミット	

5. 《苦情・相談結果報告》

苦情の定義→センター長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数

報告件数	平成30年度			平成31年度			
	合計件数	苦情	相談	報告件数	合計件数	苦情	相談
	0件	0件	0件		0件	0件	0件

6. 《総括》

ニュータウン開発25年以上が経過し、団塊世代が多い地域はこの5年で高齢化率が10%以上増と急速な高齢化が進んでおり、認知症を抱えたケースや、多問題が絡んだケースに関する相談が年々増加傾向にある。

プラン総数も大幅に増加しており、前年度より約374件増加。直営件数も増加している。今後もコスト意識を持ち、直営プラン数の維持に努めたい。

地域ケア個別会議やケース検討会議に関しては、前年度より引き続き実際の個別事例を用いて行い、家族や住民と介護保険事業者の間での情報共有を行うことができ、地域で介護を行っていくための安心感が増したとともに、参加されたケアマネジャーの資質の向上も図ることができた。また、今年度は圏域内において初めての、認知症高齢者声掛け訓練を開催した。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを今後も地域と一丸となって進めていきたい。